



# 関川村

第131号

令和5年5月15日発行  
2023

# 議会だより



**進む災害復旧**

土橋(上野原)

- 会議報告及び議員活動報告 ..... 2 ページ
- 予算審査特別委員会 ..... 4 ページ
- 一般質問 6名登壇 ..... 6 ページ
- 村民の声 本間 愛さん ..... 12 ページ



村のホームページでもご覧になれます。  
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

発行 関川村議会 発行責任者 議長 渡邊秀雄  
編集 議会広報常任委員会 TEL (0254) 64-1494

# 令和5年 1月臨時会議 3月定例会議

○1月24日の第1回臨時会議では、一般会計補正予算（主に道路除雪対策費等）が上程され、原案の通り可決されました。

○3月定例会議は3月9日から20日に開催。最初に村長の令和5年度施政方針説明があり、続いて議員6名が一般質問を行いました。その後、条例の制定1件、条例の一部改正5件、過疎計画の変更1件、村道路線の変更1件、工事変更請負契約締結1件、補正予算3件、当初予算9件、人事案件1件を上程。そのうち当初予算9件は予算審査特別委員会へ付託され、最終日に原案の通り可決されました。ほか陳情2件が採択されました。

## 1月臨時会議

## 3月定例会議

### ■一般会計補正予算

9740万円を追加  
総額95億6650万円

(抜粋)

### ◇一般管理費

・備品購入費(8月豪雨災)  
190.8万円

### ◇母子衛生費

・出産・子育て応援交付金  
175万円

### ◇農業振興費

・農林水産業総合振興事業補助金  
385.5万円

・経営体発展総合支援事業補助金  
790.9万円

### ◇道路橋りょう維持費

・道路除雪対策費(需用費)  
3880万円  
(委託料) 3500万円

(抜粋)

### ■関川村個人情報保護法施行条例の制定

◇個人情報保護の保護に関する法律の施行に伴い、法律の施行に関し必要な事項を定めるものです。

### ■関川村行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例等の一部を改正する条例

◇関川村個人情報保護法施行条例の制定に伴い、一部を改正するものです。

### ■関川村印鑑条例の一部を改正する条例

◇印鑑登録を受けていてマイナンバーカードを所持している人は4月3日からコンビニ等で印鑑登録証明書の交付を受けることができ、ように改正するものです。

■関川村国民健康保険条例の一部を改正する条例  
◇出産育児一時金を現行42万円から50万円に引き上げて支給するものです。  
(4月1日から施行)

### ■過疎地域持続的発展計画の変更

◇人口の推移や脱炭素事業等による事業内容の見直しを行い、より現行にあった持続的発展計画に改めるものです。

### ■村道路線の変更

◇村道鷹ノ巣線の延長を165.8m延長し、443.8mに変更するものです。

### ■南中橋橋梁補修工事変更請負契約の締結

◇塗料に鉛が含まれていたための処理に係る増額です。  
・変更前の請負金額 5236万円  
・変更後の請負金額 7131.19万円  
・契約の相手方 株式会社 丸弥組

■一般会計補正予算  
(第12号)  
1億8200万円の  
減額補正  
総額93億8450万円

◇その他公共施設・公用  
施設災害復旧費  
△1700万円  
決算見込みによる

◇災害救助費  
△8700万円  
決算見込みによる

◇都市災害復旧（堆積  
土砂排除）費  
△1560万円  
決算見込みによる

◇清掃総務費  
(主に災害関係)

△9256.1万円  
決算見込みによる

■診療所特別会計補正予算  
(第3号)  
740万円増額し、総額  
1億1060万円とするも  
のです。

◇治水砂防費  
1億8500万円

豪雨災害による急傾斜地  
崩壊防止工事(内須川)ほ  
か

■介護保険事業特別会計  
補正予算(第3号)  
2300万円を減額し、  
総額1億880万円とする  
ものです。

◇農地農業用施設災害  
復旧費  
△7590万円  
決算見込みによる

△3000万円  
決算見込みによる

◇公共土木施設災害復  
旧費

△3000万円  
決算見込みによる



■関川村教育委員会委員  
の任命につき同意を求め  
ることについて  
佐藤みつ子さんの任命に  
ついて同意されました。

### 議員活動報告

■令和4年度いわふねの森  
づくりセミナー  
主催 新潟北部地域林業振  
興協議会

日時 令和5年2月17日  
会場 村上市総合文化会館

◇(第一部)

「青葉組の設立と今後の活  
動について」  
講師 (株)グリーンフォレス  
ター代表取締役 中井照太  
郎氏

青葉組は2020年に設  
立し、植林や育林を専門と  
する会社です。行政の補助  
金を活用し森林づくりを行  
っています。

正社員12名。栃木県大田  
原市と村上市大場沢を拠点  
に活動していますが、将来  
は全国展開を目指す大きな  
目標を掲げています。

日本の森林課題について、  
森林の蓄積量は過去最高の  
80億mを超えています。伐  
採者は横ばい、育林者数は  
減少して伐採面積の3、  
4割しか植林されないのが

現状です。そこで社員の働  
き方改革として、3勤1休  
一日6時間労働、日給月払  
い(気兼ねなく休める)。現  
場管理は現場に委任し日給  
額を最大化するために、現  
場ごとの単価・期限・人件  
費率を班長と共有するなど  
して人材確保に成果を上げ  
ています。他にも労働の軽  
減化と効率化を進めるため  
ドローンや電動ネコ車の導  
入等設備投資も惜しみませ  
ん。

豊富な森林資源を活用し  
きれいな現状の中で、  
5年計画として10人で50ha  
の再造林ができる体制づく  
りを目指しています。

林業者が減少している林  
業界の中で明るい話題を提  
供していた、期待して  
います。今後の活躍を期待して  
います。

◇(第二部)

「持続可能な森林・林業・  
木材産業をめざして」  
講師 下越森林管理署村上  
支署長 金子里志氏

先人の努力により造成さ  
れた森林を持続的に管理・  
利用し、次世代に引き継ぐ  
ことは、現世代の責任です。  
そのためには、森林・林業  
・木材産業が持続的に発展  
することは不可欠です。自  
らの短期的な利益を追求す  
るのではなく、国土と自然  
環境の根幹である森林の適  
正管理、森林資源の持続的  
な利用を確保すべく、効率  
的なサプライチェーンを構  
築して相互利益を拡大しつ  
つ、再造林につなげるとの  
視点を共有し努力していく  
ことが望まれます。

当村における脱炭素事業  
が森林・林業の持続可能な  
産業発展に資することを期  
待しています。





# 令和5年度 予算審査特別委員会

3月定例会議において、令和5年度の予算審査が委員会付託され、委員長 伊藤敏哉、副委員長 近 壽太郎、他委員7名にて、3月10日・13日の2日間にわたり審議されました。抜粋し、一部を紹介いたします。

## 一般会計当初予算 48億6,800万円【前年比1億8,500万円増】

※**新**新規 **拡**拡充

### 一般会計

(抜粋)

#### 総務費

8億8510万円

#### ■新エネルギー推進事業費**新**

1億5600万円

#### Q脱炭素関連の具体的な内容は？

A脱炭素先行地域に選定され、その計画に基づいた事業です。17カ所の公共施設の省エネ設計業務と道の駅周辺の公共施設で地域マイクログリッドを構築するために電力自営線を整備する設計費用です。このほか、村における地球温暖化対策実行計画の立案を行います。脱炭素先行地域に関連する事業の財源は、省エネ関連事業は3分の2、自営線は4分の3が国の補助

金で賄われ、残りの村負担分は過疎債で対応する予定です。

#### ■コンビニ証明書交付サービス**新**

112万円

#### Q対応コンビニは？

Aマルチコピー機が置いてある全国のコンビニ等で住民票や印鑑登録証明書が発行できます。コンビニの機器接続費用とシステム改修費です。コンビニで発行の際はマイナンバーカードが必要になります。発行料金は役場窓口と同額です。

※マルチコピー機が設置されているスーパーやホームセンターでも発行できます。



#### ■防災無線基本構想策定委託料**新**

330万円

#### Q防災無線の更新に向けた予算か？

A老朽化に伴う更新時期が近づいたことから、双方向通信の導入も視野に入れ、今後の防災無線のあり方を調査検討する経費です。

#### ■村議会議員一般選挙費**新**

1578万円

#### Q今回からの改正内容は？

A公職選挙法の一部改正に伴い村条例を改正し、ポスター印刷代と車両に関連する経費を含めて予算計上しました。なお、立候補者は供託金を支払わなければなりません。

#### ■新潟県・関川村総合防災訓練事業費**新**280万円

#### Q具体的な内容は？

A県と村の共催にて防災訓練を開催します。昨年は田上町で開催しましたが、

今年は関川村で10月15日開催予定です。

#### 民生費

9億9044万円

#### ■地域ささえあいセンター事業委託料**新**666万円

#### Q内容は？

A災害被災者の救済を目的に令和4年10月に立ち上げました。ボランティアによる復旧活動、生活支援ささえあい、見守り活動や地域コミュニケーション等、生活支援相談員が中心となつて行う支援事業です。



■下関保育園改修事業費新  
6000万円

Q改修の内容は？

A衛生面と安全性を考え、トイレの洋式化と床の改修及び手洗い場の改修と未満児用の遊戯室の改築費です。

### 衛生費

3億3273万円

■プラスチック製容器包装資源化業務委託料新  
274万円

Qプラスチックも資源ごみ扱いになるのか？

Aプラスチックは可燃ごみです。プラスチック製の容器などが10月から資源ごみ扱いになります。プラスチック・包装を分別し透明または半透明の袋に入れ、指定日に出してもらいます。

■出産・子育て応援交付金新  
90万円

Q出産一時金との違いは？

A出産一時金は出産費用等を支援するもので(50万円)、出産・子育て応援交付金は出産・育児関連用品等に充ててもらおうことを目的としています(10万円)。

### 農林水産業費

3億706万円

■退耕還林モデル構築事業委託料新  
50万円

Q山の植林事業との違いは？

A荒れた農地に植林し山として管理できないかの実証実験です。

■県営中山間地域農業農村総合整備事業負担金新  
117万円

Q鮎谷地区での圃場整備の面積と完了はいつごろの

予定か？

A12ヘクタールです。2年間の調査後、令和8年に着工、令和12年に完了予定です。



鮎谷圃場

■森林環境復興対策事業委託料新  
600万円

Q復興事業か？

A被災した山林の復旧工事です。

■エコシステム構築プロジェクト委託料新  
30万円

Q脱炭素関連か？

A新など、地域資源を地域で使える仕組みづくりを加速させ、エネルギーの地産地消を目指します。

■学びの森づくり整備委託料新  
30万円

Q予定地は？

A上関地内にある上関生産森林組合の山を借りて、子供たちの学びの場を整備します。



学びの森予定地

### 商工労働費

3億4258万円

■観光コンサルティング委託料新  
340万円

Q内容は？

A森林を活用した観光交流プログラム開発を行う費用です。

### 消防費

3億3575万円

■備品購入費 620万円

Q災害で被災した消防ポンプ積載車の入れ替えか？

A災害ではなく、上関の更新による車両の入れ替えです。



■消防団員報酬

927万円

Q減額は報酬の削減か？

A報酬の削減ではなく、現状に合った団員数減による減額です。357名から310名の体制にします。



# 一般質問



鈴木紀夫 議員

## 道の駅せきかわ 3rd

### 議員

昨年秋に脱炭素先行地域に村が選定されたことにより、道の駅を中心に、電力自営線整備など地域マイクログリッド※を構築する計画だが、これにより道の駅リニューアルの予定変更はあるか伺う。

※電力量を操作しエネルギーの地産地消ができるシステム

### 村長

マイクログリッド構築はリニューアル工事とは別に検討設計が必要となりますので、7月完成予定の道の駅リニューアル工事に変更は生じません。

### 議員

道の駅周辺に木質バイオマス発電機が2基設置される計画だが、発電施設の設置、また自営線設置の際、道の駅利用客の障害にならないか。



小型木質バイオマス発電機イメージ

### 地域政策課長

工事車両の出入り、自営線の道路の横断等ありますが、利用客に極力影響を与えないように努めます。

### 議員

ここ数年、道の駅に食事処がない状態だ。以前「食」については道の駅全体で考えなければならぬ」との村長の回答であった。あれから2年、道の駅の「食」についてどのような考えになったか伺う。

### 村長

「食」についての考え方に変わりはありません。これまでも事業者等と交渉してきましたが、施設運営に係るコスト等の課題があり、契約に至っていないのが現状です。村としては、大型遊具の設備完了後は人の流れにも変化が生まれることから引き続き、利用者のニーズに対応した食が提供できるよう、事業者の誘致に努めます。

### 議員

グランドオープンから1年になる「コラツシエ」。プレオープン時と比較しても利用数が伸びない観がある。

また、併設する「ゆくむ」には何カ所か設備不良がある。不良個所の改修及び「コラツシエ」の料金設定と併せ利用促進策を伺う。

### 教育長

利用促進策として、レディースタイルを設定し、女性の利用者増を図っているところですが、歩行や体組成の測定機器の利活用を促進し、トレーニングの目標立てや体力づくりの継続につなげていきます。

ゆくむの設備不良については、技術的な課題に加え、機器の調達に時間がかかっておりますが、順次解決していきたくと考えています。利用料金に見合うサービスを提供し、利用促進につなげていきたくと考えています。

### 議員

「コラツシエ」でかいた汗を流すため「ゆくむ」を利用するが、利用料金が高いと考える。また、指導員の数を増やす計画もあると聞く。人件費等のコストを見直し利用料金へ還元できないものか。

### 村長

料金設定は、検討する余地は十分あると思っております。利用者および関係者の意見を踏まえながら検討課題にさせていただきたいと思っております。指導員の人数については、コストと安全のどちらを優先するか議論はありますが、地域へ出向いての指導や就労時間を考慮し増員したいと考えています。



# 一般質問



加藤和泰 議員

## デジタル化の具体的取組は 防災無線の 更新スケジュールは

議員

行政のデジタル化によって事務の効率化、コスト削減が可能になると思われるが、今後デジタル専門職員を採用する考えは。

村長

デジタルの専門知識を持つ人材は、多方面で引く手あまたの状況です。

村では、現状デジタル職員のみならず職員の採用自体に四苦八苦しており、デジタル人材確保は極めて難しいと思われまます。

そのため、必要に応じて専門職の外部知見を導入したり、関係市町村などとの連携により、地域全体でデジタルの知見を高めていくことが適当なのではないかと考えています。

議員

今後のデジタル化の計画的な取組は。

村長

現在、自治体が重点的に取組むべき事項や内容を具体的に記載するデジタル化推進計画の素案策定作業を進めています。

令和5年度は、実証実験

を行いながらデジタル化推進計画を策定し、その計画に沿ってデジタル化の推進に取組みます。

議員

デジタル化実証実験の具体的内容は。

総務課長

役場庁内の印鑑を廃止しての決裁、電子決裁システムを一つか二つの課で試験的に導入する検討をしています。

議員

自然災害や防災面での活用はどのように考えるか。

村長

現在、防災無線の更新を検討しています。

現在の防災無線は導入から11年が経過し、更新期を迎えていますので、デジタル技術を活用したシステムの構築を目指したいと考えています。

議員

災害時にリアルタイムに情報共有出来ることが重要と考えるが、防災無線更新の具体的スケジュールは。

総務課長

令和6年から7年くらいには導入したいと考えています。

導入に際しては、全世帯に一齐に導入するのではなく、小さな集落で試験的に導入したいと考えています。

議員

地理情報システム（GIS）導入の考えは。

村長

GISは、地図データ上に、道路や上下水道などのインフラ設備、村有財産などを重ねて表示できることから、施設管理や災害時に大変有効であると認識しています。

将来的な導入も視野に、データ集積、費用面や管理運営体制などについても研究をしたいと考えています。

議員

行政のデジタル化において、村民に対してどのような利点があつて、どのようなサービスができるかという部分が重要と考える。また、デジタル化に取り残される人が出たり、災害

★地理情報システム（GIS）では主に以下のようなことができます。

電子地図 地図データの表示・編集

リンク 情報の関連付けと共有・管理

工事中 情報の検索・分析

時等における情報格差が生じることのないように充分配慮の上、推進することを希望する。



一般質問



平田 広 議員

1 人口減少と少子高齢化対策は  
…令和4年度関川村の出生数6人  
2 有害鳥獣駆除対策の強化は  
3 脱炭素に向けた村の推進体制等は

一、人口減少と少子高齢化対策について

議員

令和4年度関川村の出生数が6人と聞いて急激な減少に危機感を感じている。  
①人口減少並びに少子化の急激な減少の要因は  
②今後の少子化対策方針は  
③人生100年時代、敬老祝い記念品の拡充等の考えは

村長

①全国的に、出産期に当たる世代の減少に加え、未婚化・晩婚化など婚姻数の減少が考えられており、本村でも同様と捉えています。  
②当初予算でも既存の事業の継続あるいは拡充を行いました。引き続き国や県、他市町村の動向に注視しつつ対応していきます。  
③当村は昔から結構きめ細かく対応しており、記念品の額を市町村で争うのではなく、生きがい対策とか、社会進出や安全・安心な暮らしの支援に重点を置きます。記念品等については妥当なものと考えています。

二、有害鳥獣駆除対策の強化は

議員

有害鳥獣の中でも特に苦情の多いサルと近年増加傾向にあるイノシシの駆除対策強化について伺う。  
①駆除対策に国の制度である兼任集落支援員の活用は出来ないか。  
②発信機を取り付け、サルの居場所や行動を把握し、関係地区や猟友会員に発信出来ないか。  
③近年、急激な増加傾向にあるイノシシの駆除強化を。

村長

①内発的な機運に基づいた集落や地域ぐるみでの取り組みでなければ、どのような制度を活用したとしても効果は現れがたいです。  
② 鮎谷集落では、集落内の不要な果樹の伐採、やぶ払いなど集落ぐるみでの取組を始めたいです。  
③ 地域ぐるみでの取組の中で機運を醸成し、集落支援員制度の活用につなげていければと考えています。  
④ 発信機は、捕獲にかかる猟友会の方々の負担等を考慮すると現実的ではないと考えています。  
⑤ イノシシは1.64倍のスピードで繁殖するといわれ、それ以上の駆除が必要になると考えています。  
⑥ 今後、猟友会の協力を得ながら、特に雪のない時期の農作物に被害を及ぼす加害個体の駆除体制について強化を図っていきます。  
⑦ 三、脱炭素に向けた村の推進体制等は

議員

関川村脱炭素先行地域事業を成功させるための村の推進体制について  
①協議会等の推進体制は  
②要綱や規則等設置状況は  
③森林・林業も重要と思うがどうか。

村長

①外部有識者を含めた関川村地球温暖化対策会議を発足し、議論を進めています。専門的分野は同会議メンバーからワーキンググループに参画してもらい、専門知識を有する企業と協定を結び、実現性等の具体的協議を行っています。

庁内では課長級以上が参画する脱炭素推進本部を設置し議論しています。

議員

②要綱等の整備は、現在取り組んでいます。  
③森林・林業は村としても重要と考えており、森林整備・林業振興に新たな予算を計上しています。  
①村民への周知不足を感じるが、今後の周知方針は。  
②国は再造林を強力に進めるとのことだが村の支援は。

地域政策課長

①エリア内(下関・上関)の村民を対象とした説明会は実施してきたが、まだ十分と認識しています。  
② 今後はエリア内外での説明会や村の広報、公式ウェブサイトを周知を図っていきます。  
③ 村内の民有人工林の大半が標準伐期を迎えており、再造林率は3~4割ほどです。  
④ 国の補助事業や「ふるさと越後再造林基金」を活用して、地権者負担なしできるよう努めています。

農林課長



# 一般質問



小澤 仁 議員

## 豪雨災害、防災面の検証

### 議員

昨年の8月の豪雨により、村は激甚災害に指定される被害を受けた。災害復旧はまさにこれからだ。この度は防災面を伺う。

総合計画の「住みよい暮らしのために」第8項、安心安全な暮らしの確保、「1危険管理体制の整備」、「3自然災害」について。豪雨災害時に設置された災害対策本部と消防団。それから地域の自主防災組織の活動、それぞれの連携、伝達それらの検証はどうだったか。その検証を踏まえて改善すべき点をどの様に改善したか。もしくは今後改善するののか。

### 村長

質問の答弁の前に当時の気象状況や村の対応を振り返ってみたいと思います。

8月3日の日は中北地域において雨雲がかかっていたために、女川地区での災害に警戒しており、地区の区長さんには警戒を呼び掛けました。女川地区ふるさと会館、光兔こども館

に自主避難所を設置するとともに、高田地区ふるさと会館も開放をお願いしました。

その後、荒川の水位や土砂警戒情報に注視するとともに、気象台からの情報を得ながら警戒をしていましたが、これらの情報では避難情報を発令する段階に至らず、集落の状況が把握できていない中で、避難指示の発令のタイミングを失う結果となりました。

線状降水帯が当初の予報に反して長く村に居座り続けることになり大雨特別警報が発令され、深夜に緊急安全確保を発令し、垂直避難等と呼び掛けることとなりました。避難指示の発令のタイミングや土砂災害の発生予測などの難しさを実感したところです。

議員の質問ですが、初めに検証について、この度の豪雨災害を教訓として反省点や改善点を洗い出し、今後に生かすため検証作業を行っています。村では、気象台、国土交

通省、新潟県などに連絡し、情報収集を精力的に行っていました。また、これに比べ個々の地域の情報収集に対する意識が希薄であったと思っています。

消防団については、各分団、隊ごとに水防活動を精力的に行っていたが、それが、それらの縦横の指揮や連絡体制、さらには対策本部との連絡体制も不十分であったこと。そして、自主防災組織との関係では、災害時における村の情報収集、情報共有が十分でなかったことが反省すべき点と捉えています。

これらの検証を踏まえ、改善すべき点と、どの様に改善したかは、消防団との連携不足を踏まえ、改善すべき点は指揮連絡体制を確立することです。このため、消防団長、副団長には災害対策本部への参画を徹底し、水防活動として指揮をしていただくこととします。

自主防災組織との関係につきましても、村から各地区の防災リスクに対応した

防災情報、気象情報を適切なタイミングで発信できるように情報共有の仕組みを整理し、訓練に生かしたいと考えています。

また、高田地区においては地域版のタイムラインを作成しているところであり、内水氾濫に対応した避難情報の発令基準を新たに定めることにしました。高田、湯沢、下関、上関の4集落へは、この度、新潟県と共同でヒアリングを行うとともに住民アンケートを実施しているところです。避難行動などを把握し、今後の防災対策に反映させたいと考えています。



8月4日の高田集落

# 一般質問



伊藤 敏哉 議員

## 外部人材登用の成果は

### 議員

村では令和4年度から内閣府所管の「地方創生人材支援制度」を活用し、民間企業から専門的なスキル（訓練や学習によって獲得した能力）を有する4名の人材の派遣を受けた。それぞれの得意分野を活かし、村の施策の充実強化に貢献していただいていると認識している。

当制度を他の自治体に先んじて活用し、デジタル分野やグリーン部門（環境部門）等に力を入れて村政を進めることは非常に意義あることと感じており、当制度への取組みに敬意を表する。地方創生人材支援制度について、財政支援面を含めた制度の概要は。

### 村長

地方創生人材支援制度は、東京への一極集中の是正や地方の活性化のために積極的に取り組む市町村に対し、意欲と能力のある国家公務員、大学研究者、民間専門人材を市町村長の補佐役として派遣する制度。報酬に

ついては原則市町村の負担となります。

一方で、三大都市圏の民間企業の社員を受け入れ、地域活性化に取り組む場合、総務省所管の「地域活性化企業人」という制度に該当して、受入れに要する経費年間一人当たり560万円を上限に国の財政支援を受けられます。

村では地方創生人材支援制度を活用してデジタル、脱炭素、観光の各分野で4名の人材を受入れ、そのうち2名が国からの財政支援を受けています。このほか農業DX分野で、民間企業負担で1名の派遣を受けています。

### 議員

当制度により人材の派遣を受けて一年が経過した。その成果は。

### 村長

行政の仕事も専門知識や民間の発想が求められる分野が増え、職員だけでは大きな成果を得るには限界があると考えています。派

遣された皆さんには、培ってきたノウハウや知見を活かして精神的に問題解決と新たな事業展開に取り組んでもらっています。また、幅広い人的ネットワークを活かし、村の活性化の観点からも多くの事業提案をいただくなど、役場職員にも大いに刺激となっており、組織の活性化の面からも成果につながっていると考えています。

### 議員

民間専門人材の派遣期間は半年から2年とのことだが、令和5年度以降の取組みは。

### 村長

多方面から有能な人材を受け入れることは、一緒に仕事をする職員のスキルアップと職場の活性化につながると考えています。今後とも村のニーズに応じた人材の確保のため、地方創生人材支援制度など国の制度を有効に活用していきたいと考えています。

### 議員

村の職員に対して、大きな刺激となっているとのことだが、具体的には。

### 副村長

一番大きいのは、仕事を進める上でのスピード感だと感じています。どんどん先を見据えて動いていくというスピード感、そして我々が思いつかない発想で物事を進めていく力がとても優れており、職員の刺激になっていっていると感じています。今後職員には、派遣された皆さんに随行して、企業との交渉の場面に立ち会うなどの機会を体験してもらいたいと考えています。





# 一般質問



高橋正之 議員

## 施政方針説明の内容について問う

### 議員

村長の施政方針説明の内容について伺う。

住みよい暮らしのために、というところで道の駅周辺整備の中で、道の駅の一角にコンビニエンスストアの誘致を進めるとあるが、このことは村民の声であったのか、伺う。

### 村長

施政方針でも述べさせていただいたコンビニエンスストアの誘致については、これまで取り組んできた道の駅における飲食店誘致のいわば延長線上にあり、その意味では地元の声であると考えています。

### 議員

大型遊具の整備が完了する7月には道の駅の利用者も多くなることから、利用者のニーズに対応できるコンビニエンスストア機能は必要と考え、誘致を進めることとしています。

地域を担う産業振興のためにといいことで、まず、農業の振興について伺う。新規土地改良事業で、鮎

### 議員

谷・大島地区の圃場整備事業を積極的に進めるとあるが、これはいつ頃から取り組む予定なのか伺う。

### 村長

鮎谷地区については県営中山間地域農業農村整備事業で取り組む予定としており、令和5年度から2年にかけて調査を行い、令和7年度に事業採択をされれば測量設計を行い、翌年令和8年度から3か年かけて工事が行われる計画です。

また、大島沢田地区については経営体育成基盤整備事業を予定しており、令和6年度から4年間かけて調査を行い、令和10年度に事業採択、令和11年度から6年かけて工事を行う計画となつていますが、国、県の財政状況等によって計画は変動するので、申請事業主体である関川村土地改良区を積極的に支援しながら事業を進めていきたいと考えています。

### 議員

有害鳥獣対策について伺う。現在、電気柵設置補助により農作物被害の減少と有害鳥獣を寄せつけない取組は効果を上げており、継続が必要と考える。現在、イノシシや鹿の捕獲量が増えている、そのために処理場が必要と考えるが、村長の考えを伺う。

### 村長

農作物の被害を抑制するには、まず電気柵等で農地を囲い込むことで一定の効果が得られるため、引き続き支援をしていきたいと考えています。

被害が多いイノシシについては1年間で1.64倍のスピードで繁殖すると言われており、繁殖スピードを超えて駆除が必要になります。駆除した個体の処分も負担が大きくなるので、近年人気の高まっているジビエへの活用を進めるため処理場を整備することは、地域振興に資するとともに猟友会の方々の意欲の向上も期待

### 議員

できるのではないかと考えます。処理場の運営には専門的な知識が要ることから行政主導での運営は難しく、猟友会や民間企業などが運営に意欲を示していただければ、村としては積極的に協力をしていきたいと考えています。

### 議員

ふるさと納税について伺う。昨年同期比で倍増の3,725件の納税があったと聞いている。今後、返礼品を増やす考えはあるか。

### 村長

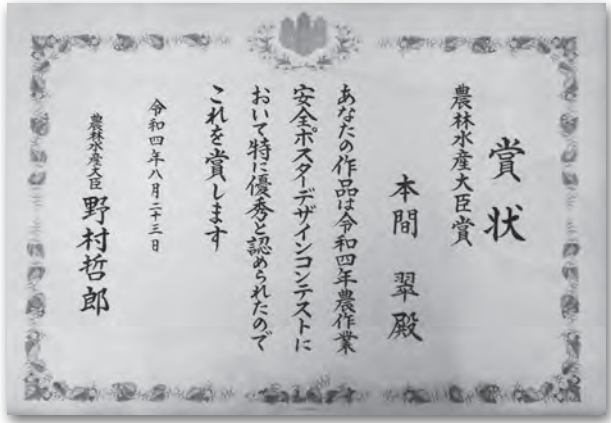
返礼品の品揃えは随時拡大しており、令和2年度の約60品から現在は約100品まで増えています。日本酒や肉などが好評で多くの寄附を頂いています。

今後、新たに山菜などの山の幸に加え、物ではなく体験型のイベントも返礼品に追加し、既存の返礼品でもあつてもパッケージ等を工夫し、選ばれよう取組みたいと考えています。



# 村民の声

## 農林水産大臣賞授賞式



あいさん  
愛さん  
(安角)

ほんま  
本間

2022年8月23日に娘の翠と一緒<sup>みどり</sup>に坂町駅から、普通列車に乗って新潟駅まで行き、村上桜ヶ丘高校、農業科の三浦先生と合流して新幹線に乗り、東京駅まで行きました。校長先生とは、日比谷公園で待ち合わせをしました。お昼は、校長先生が予約してくれた松本楼というレストランでお昼をご馳走になりました。レストランを出る時、「私が支払います。」と校長先生に言ったら、「翠さんのお祝いなので払わせて下さい。」と言われたので、「ありがとうございませう。」と言ってご馳走になりました。コロナで心配でしたが娘のおかげで久しぶりに東京に行けました。ありがとうございます!!先生達と日比谷公園に行き、娘は農林水産省でスピーチする為、暑かったですが練習して、噴水の前で写真を撮ったり

しました。その後、時間があつたので、日比谷図書館に行き、一休みすることにしました。そして農林水産省に行き、入口で写真を撮って、警備員さんがいる入口を通って、第3特別会議室に行きました。広い会議室で、用意された席に座り、農林水産大臣の野村哲郎大臣が来るのを待ちました。表彰式が始まってから、野村哲郎大臣から、賞状をもらっている所を写真に撮ったり、スピーチをしている所の動画を撮ったりしました。私も娘もいい思



い出になりました。その後、大臣も帰り、農作業安全確認運動推進会議に参加して、トラクターの事や農作業安全対策についてオンラインで私も一緒に話を聞きました。とても勉強になり、娘が農業のことをこんなに考えてるんだなと思ひ、感心しました。翠、農林水産大臣賞受賞本当におめでとう。翠は家族の誇りです。

昨年<sup>みどり</sup>の8月豪雨による災害復旧が、村、内外の関係者皆様方の手により進められております。感謝を申し上げる次第であります。業者の皆様におかれましては、大変な御苦労だとは思いますが、よろしくお願いを申し上げます。また、村では、脱炭素の取り組み計画について議論を重ねより良い事業を進めるために、懸命に取り組んでいるところでもあります。今年<sup>みどり</sup>は、復興に向けての災害復旧事業、地球温暖化対策に取り組む、脱炭素先行地域事業にしっかりと目を向けてまいりたいと思っております。(正)

### 編集後記

昨年<sup>みどり</sup>の8月豪雨による災害復旧が、村、内外の関係者皆様方の手により進められております。感謝を申し上げる次第であります。業者の皆様におかれましては、大変な御苦労だとは思いますが、よろしくお願いを申し上げます。また、村では、脱炭素の取り組み計画について議論を重ねより良い事業を進めるために、懸命に取り組んでいるところでもあります。今年<sup>みどり</sup>は、復興に向けての災害復旧事業、地球温暖化対策に取り組む、脱炭素先行地域事業にしっかりと目を向けてまいりたいと思っております。(正)

### 議会広報常任委員会

- 委員長 加藤 和泰
- 副委員長 鈴木 紀夫
- 委員 近 壽太郎
- 委員 伊藤 敏哉
- 委員 小澤 仁
- 委員 高橋 正之